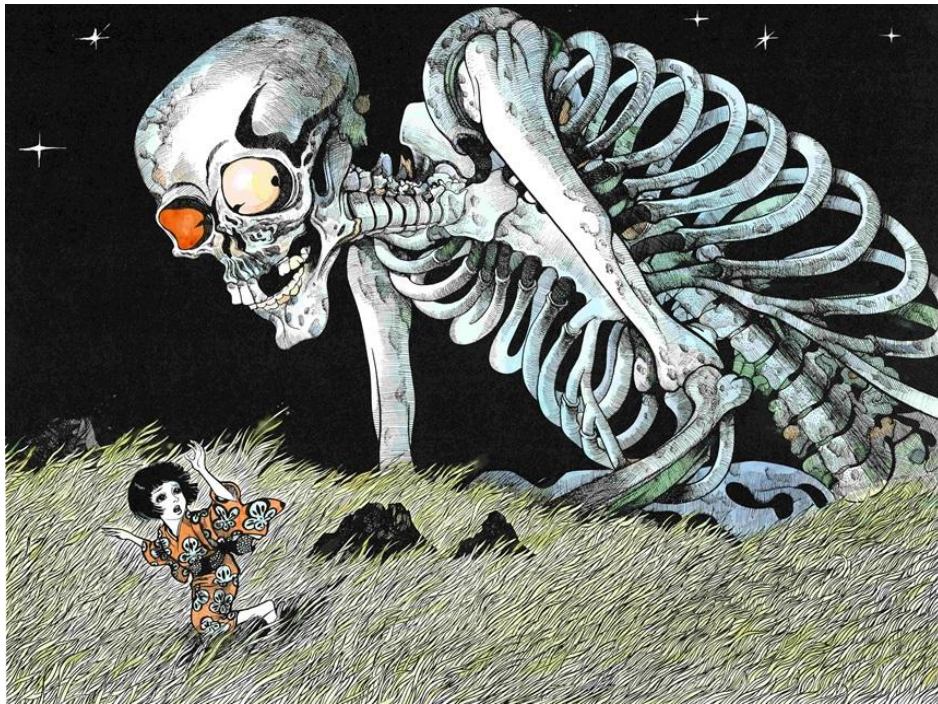


水木しげるの妖怪 百鬼夜行展

～お化けたちはこうして生まれた～



《がしゃどくろ》©水木プロダクション

【展覧会概要】（資料2～4ページ参照）

代表作『ゲゲゲの鬼太郎』をはじめ多くの妖怪作品を生み出し、現代の日本人に妖怪文化を定着させた漫画家・水木しげる（1922-2015）は、その後も長きにわたり妖怪ブームの担い手として活躍しました。

2022年の生誕100周年を機に企画された本展は、これまで開催されてきた数ある水木しげる展の中でも初めて妖怪画が作られる具体的手法に注目した展覧会です。百鬼夜行の名にふさわしく、水木しげるの妖怪画の原画約100点を一挙公開するほか、水木しげるが所蔵し、参考にしていた書籍や関連資料、妖怪文化人の系譜と著作などを展示します。

先人たちが築いてきた妖怪世界をリスペクトし、さらに豊かなものへと発展させた水木しげるの世界をお楽しみください。

《問い合わせ先》

茨城県天心記念五浦美術館 〒319-1703 茨城県北茨城市大津町椿2083

TEL:0293-46-5311 FAX:0293-46-5711

E-mail: kouho-tmi@tenshin.museum.ibk.ed.jp

展覧会担当：木澤 沙羅（きざわ さら）／広報担当：大津 友美（おおつ ゆみ）

※本リリースの記載内容は、当館ホームページで随時紹介いたします。

(<https://www.tenshin.museum.ibk.ed.jp/>)



当館HPへ

平素より当館の事業にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。
標記の件につきまして、本書のとおりご案内申し上げます。

【開催概要】

- 1 展覧会名 「水木しげるの妖怪 百鬼夜行展～お化けたちはこうして生まれた～」
- 2 会 期 令和7年(2025年)9月12日[金]～10月26日[日]
休館日：毎週月曜日
(ただし、9月15日[月・祝]、10月13日[月・祝]は開館。9月16日[火]、10月14日[火]は休館)
- 3 開館時間 午前9時30分～午後5時(入場は午後4時30分まで)
10月25日[土]、10月26日[日]は午後7時まで開館(入場は午後6時30分まで)
- 4 会 場 茨城県天心記念五浦美術館 展示室A・B・C
- 5 主 催 茨城県天心記念五浦美術館／NHK水戸放送局／NHKプロモーション
- 6 企画協力 水木プロダクション
- 7 後 援 朝日新聞水戸総局／茨城新聞社／産経新聞社水戸支局／東京新聞つくば支局／毎日新聞水戸支局／
読売新聞水戸支局／LuckyFM茨城放送／北茨城市／北茨城市教育委員会
- 8 入場料 一般950(820)円/満70歳以上470(410)円/高校生710(590)円/小中生360(240)円
※()内は、20名以上の団体料金
※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳又は指定難病特定医療費受給者証等
をご持参の方および付き添いの方1名は無料
※9月15日[月・祝]、9月17日[水]～9月21日[日]は満70歳以上の方無料
※土曜日は高校生以下無料
- 9 出品数 約240点
- 10 主な出品作品・資料

《がしゃどくろ》	◎水木プロダクション	
《塗壁》	◎水木プロダクション	
《あかなめ》	◎水木プロダクション	
《べとべとさん》	◎水木プロダクション	
《一反木綿》	◎水木プロダクション	
やなぎたくにお 柳田國男『妖怪談義』	修道社1958年5版(初版1956年)	水木しげる蔵
とりやませきえん 鳥山石燕『画図百鬼夜行』	1776年	水木しげる蔵

11 本展のみどころ

(1) 水木しげるの蔵書で辿る妖怪文化の歴史

妖怪図鑑の先駆として位置付けられる鳥山石燕^{とりやませきえん}『画図百鬼夜行』や、妖怪の姿や由来を民俗学の視点から分析した柳田國男^{やなぎたくにお}『妖怪談義』など、水木しげるに大きな影響を与えた書籍や関連資料を紹介します。水木しげるが所蔵していた貴重な資料から、日本の妖怪文化の歴史を辿ることができます。

(2) 妖怪画の具体的な3つの創作手法を初めて紹介

日本の妖怪だけで、生涯に1000点近くの妖怪画を描いた水木しげるは、過去の絵師が描いた妖怪についてはその形を尊重し、形が伝わらない妖怪については伝承を踏まえながら妖怪の姿を与えました。本展では水木の妖怪画の創作方法を「絵師たちから継承」「様々な資料から創作」「文字情報から創作」の3つの手法に分けて紹介し、水木しげるがどのように妖怪画を描いたのか紐解きます。

(3) 妖怪と写真撮影できるARコーナー

がしゃどくろなどの様々な妖怪たちが展覧会会場に出現します。専用アプリを使用し、妖怪たちと一緒に写真撮影ができます。

※ご自身のスマートフォンにXR観光体験アプリ「ストリートミュージアム®」をインストールしてから
の体験となります。

(4) 「妖怪フォトスポット」で写真を撮ろう！

館内に設置した「妖怪フォトスポット」で撮影した写真をSNSに投稿し、投稿画面を総合受付に提示した方、各日先着100名様に展覧会オリジナル「妖怪シール」をプレゼントします。（要企画展当日入場券）

(5) 夜間開館の実施

10月25日[土]、10月26日[日]は午後7時まで開館します。夜の美術館で特別なひとときをお過ごしください。

(6) イベントが目白押し

9月11日[木]には、水木しげる氏の長女である原口尚子氏によるギャラリートーク付先行特別鑑賞会を実施します。そのほかにも、北茨城市立図書館スタッフによる妖怪おはなし会や担当者によるギャラリートーク、ワークショップなど、ご家族で参加できるイベントが盛りだくさんです。

12 広報文

- (1) 代表作『ゲゲゲの鬼太郎』をはじめ多くの妖怪作品を生み出し、現代の日本人に妖怪文化を定着させた漫画家・水木しげる(1922-2015)は、その後も長きにわたり妖怪ブームの担い手として活躍しました。2022年の生誕100周年を機に企画された本展は、これまで開催されてきた数ある水木しげる展の中でも、初めて妖怪画が作られる具体的手法に注目した展覧会です。百鬼夜行の名にふさわしく、水木しげるの妖怪画の原画約100点を一挙公開するほか、水木しげるが所蔵し、参考にしてきた書籍や関連資料、妖怪文化人の系譜と著作などを展示します。

(245字)

- (2) 現代の日本人に妖怪文化を定着させた漫画家・水木しげる。本展では、水木しげるの妖怪画の原画約100点を一挙公開するほか、水木しげるが所蔵し、参考にしてきた書籍や関連資料、妖怪文化人の系譜と著作などを展示します。

(105字)

- (3) 日本に妖怪文化を定着させた漫画家・水木しげる。本展では、水木しげるの妖怪画約100点を一挙公開し、妖怪たちがどのように描かれてきたのか紐解きます。

(71字)

13 オープニングセレモニー・内覧会

- ・開会式 9月11日[木]午後1時～ 茨城県天心記念五浦美術館 企画展示室入口
- ・主催者挨拶、テープカット
- ・内覧会 午後1時30分～

14 会期中のイベント

(1) ギャラリートーク付先行特別鑑賞会

水木しげる氏の長女である原口尚子氏をお迎えし、展示作品についてお話をうかがいながら展覧会を鑑賞します。

講 師：原口尚子氏

日 時：9月11日[木] 午後3時～(約40分)

会 場：企画展示室

定 員：50名程度

※要事前申込(抽選制)、無料 申込期間 8月29日[金] 午後4時まで

(2) 妖怪おはなし会「おばけ 妖怪 こわい?こわくない?」

北茨城市立図書館スタッフによる、妖怪に関する本の読み聞かせを行います。

協 力：北茨城市立図書館

日 時：9月21日[日] 午後1時～/午後3時～(各回約30分)

会 場：企画展示出口付近 ※参加無料、申込不要

(3) ギャラリートーク

展覧会担当者が作品解説を行います。

日 時：9月15日[月・祝] 午後1時20分～(約40分)

会 場：企画展示室 ※要企画展当日入場券、申込不要

(4) トワイライトコンサート

出 演：井坂実樹(フルート)、内門卓也(ピアノ)

日 時：10月4日[土] 午後5時～

会 場：エントランスロビー

定 員：200名程度 ※要企画展入場券(半券可)、当日先着順

(5) 来て・見て・発見!アートツアー for kids

日 時：9月27日[土] 午前10時～

会 場：企画展示室、講座室

定 員：小中学生と保護者5組(1組4名まで) ※事前申込(先着順)、保護者のみ要企画展当日入場券

(6) ワークショップ「あなただけの妖怪を描こう マイキャラ妖怪ワールド」

墨のにじみやマーブリングなど偶然の形から想像して妖怪を描きます。

日 時：10月18日[土] 午前の部 午前10時～、午後の部 午後1時30分～

会 場：講座室 ※要企画展入場券(半券可)、当日受付先着順、申込不要

定 員：各回20名程度

(7) 映画会(五浦名画座)

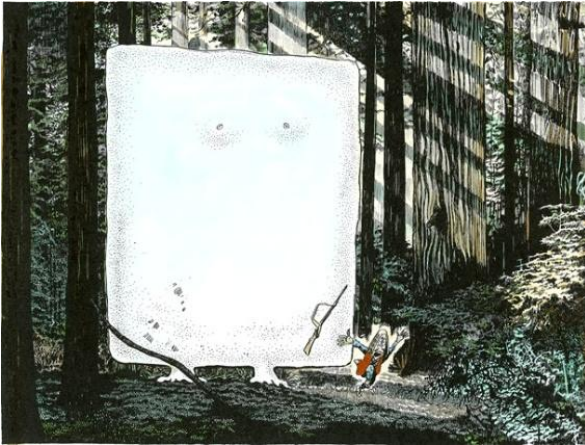
日 時：9月14日[日] 「宝島」(1950年/96分/カラー/イギリス・アメリカ)

10月12日[日] 「心の旅路」(1942年/125分/モノクロ/アメリカ)

会 場：講堂 午前の部 9時45分～、午後の部 1時30分～(15分前開場)

定 員：各回114名 ※無料、当日受付先着順、全席自由

【広報用図版】 ※表紙の画像も提供可能です。



《塗壁》©水木プロダクション



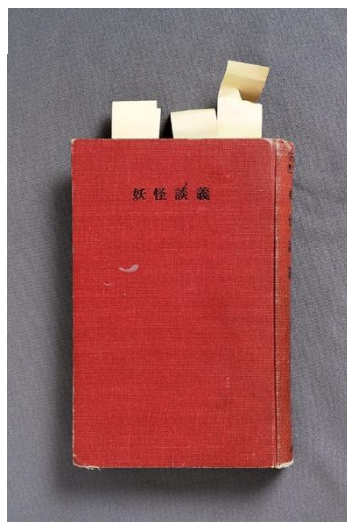
《あかなめ》©水木プロダクション



《べとべとさん》©水木プロダクション



《一反木綿》©水木プロダクション



やなぎたくにお
柳田國男『妖怪談義』
修道社1958年5版(初版1956年)
水木しげる蔵



とりやませきえん
鳥山石燕『画図百鬼夜行』1776年
水木しげる蔵

※図版使用に際しての注意

- ・ 作品画像及び資料写真を使用する際は、当館が水木プロダクションに画像申請を行いますので、お時間をいただく場合もございます。ご了承ください。また、利用目的を必ずご連絡ください。
- ・ 展覧会の紹介を目的とする内容にのみご使用願います。
- ・ 図版はデータでの提供となります。
- ・ 広報担当まで連絡、または右のQRコードを読み込んでリクエストしてください。
- ・ 図版使用の際は必ずキャプションを明記してください。
- ・ 図版への文字乗せ、トリミング等の一切の加工はご遠慮ください。

